

5号機 タービン点検作業の開始について

平成 18 年 6 月 19 日

本日(平成18年6月19日)より、低圧タービンの点検作業に着手しました。

本日は、低圧タービン(A)、(B)、(C)それぞれの点検口(※1)より、タービン最終段翼の外側の面を目視点検しました。

これまでの確認範囲において異常は認められませんでした。

今後は、低圧タービン(B)から順次、タービン車室(※2)を開放し、内部の詳細な点検を実施します。なお、タービン車室の開放は、車室内の換気を行い内部に滞留している放射性物質を十分低減させてから実施します。

※1 点検口は、開放することで、低圧タービンの最終段翼の外側の面が確認できるようになります。

※2 タービンを覆っている鋼製のカバーで、蒸気を閉じこめる役目をしています。

◆これまでにお知らせした内容

5号機は、定格熱出力一定運転中のところ、6月15日午前8時39分、タービン振動の増加によりタービンが停止するとともに、原子炉が自動停止しました。[\(平成18年6月15日お知らせ済み\)](#)

タービンの振動が増加した原因を調査するため、6月19日(来週月曜日)より、タービン内部の点検を行う予定です。

以 上